

## 社会貢献活動

マルイグループは、「お役に立つために、いま、できること」をテーマに、地域社会に貢献できることを常に考えています。衣料が不足している世界の国や地域に衣料品を寄贈する「愛の救援衣料活動」は、1991年より続けています。従業員と地域の皆さま一人ひとりの想いを集め、今後も継続的に社会貢献活動に取り組んでまいります。

### 救援衣料活動

1991年秋より、NPO法人「日本救援衣料センター」に協力し、毎年春と秋に数店舗を窓口「愛の救援衣料活動」を実施しています。ご家庭で使われなくなった衣料品を集め、日本救援衣料センターを通じて、アジア、アフリカ諸国に救援物資として寄贈しています。

2009年度に寄贈した衣料品は215トンにのぼりました。  
(出荷ベース)



▲2009年 川崎店にて

### 若者救援衣料活動

近年、若者の間でも社会貢献や環境への意識が高まっており、ライフスタイルの変化への対応、また社会参加機会の提供という面からも若者の街「渋谷」「横浜」で救援衣料活動を実施しました。集まったTシャツやジーンズは、日本救援衣料センターを通じてペルー共和国に寄贈しました。



▲ペルーで衣料品を寄贈

### 学生の方に成長の機会を提供

丸井グループは「バンタンデザイン研究所」に従業員から集めた古着を提供、学生がリメイク作品を制作し、マルイの営業店やウェブサイトなどで展示しました。

学校の実習では得にくい幅広い方々からの感想や、意見をフィードバックすることで将来のファッション業界を支える若者を支援しました。



▲リメイク作品の展示

### ボランティア活動

富士山の自然と景観を保全するため、植樹を中心とした緑化活動に取り組む「富士山ナショナル・トラスト」。マルイグループ福祉会ではその活動の趣旨に賛同し、1999年より従業員とその家族を中心にのべ750名が植樹活動に参加しています。その他、環境保全団体を通じて湘南海岸(神奈川県)・手賀沼(千葉)・おたかの森(埼玉)などの各地域で、環境ボランティアの活動に取り組んでいます。



▲富士山の「マルイの森」にて植樹

## 社会のお役に立つために… マルイのサークル活動

丸井グループでは、2008年10月より、社員やお取引先さまの社員を対象に、環境や社会に役立てるアクションを自発的に提案し、具現化していく取り組みを始めています。日々の企業活動や地域の皆さまとの関わりの中で、できることから少しずつお役にたてるような取り組みを考え、その活動の輪をグループ内に広めていくことをめざしています。

同じ思いをもった社員等が、職場や同じグループの中でチームを作り、ボランティア活動を実施したり、また、見直しやサービス介助研修の推進など、事業活動やお客さまへのサービス向上に結びつくような取り組みを検討し、具体化するなど、グループ全体で積極的にすすめています。(この活動は、社内公募により「まるトモ」とネーミングされ、現在多くの社員が活動しています。)

### ボトルキャップ収集 寄贈活動

マルイ各店舗を中心に、グループ内で32チームがボトルキャップ収集に取り組んでいます。集まったキャップは物流センターに集約し、ハンガーリサイクル工場に売却、対価を「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」に寄付し、ユニセフを通じて途上国の子どもたちにワクチンを寄贈しています。

\*09年度回収実績 108万5000個



### (植樹)海の森倶楽部 by ○|○|

東京湾に浮かぶ埋立地に苗木を植えて、緑の森に生まれ変わらせる。東京都港湾局が募集する「海の森 苗木づくりボランティア活動」に賛同した社員がサークルを結成し、活動中です。

共通の思いをもったメンバー50人が、種の採取からはじめてそれぞれの自宅で育成。3年後には全員が育てた苗木を持ち寄り100本を、植樹します。



### 地域の清掃サークル

店舗周辺の通りや公園を清掃して、地域のお役に立ちたい。そんな思いをもつ有志が集まり、就業時間前に清掃活動するサークルが生まれています。また、新宿マルイ本館オープンに際しては、NPO法人「グリーンバード」とタイアップして新宿の街を清掃、早朝から200人をこえるメンバーが集まりました。



### 手話サークル

マルイキットセンターでは、聴覚に障がいをもつスタッフが多く働いています。スタッフ同士がより円滑なコミュニケーションをはかれるよう手話サークルを結成、障がいをもつスタッフを講師として「勉強会」を行っています。今後、他の事業所にも「手話」の輪を拡げていきます。



### 営業活動の見直し・サービス向上に向けた検討会

#### 【ショッピング袋等の見直し】

過剰包装の撲滅や環境負荷の少ないショッピング袋について検討。お客さまのニーズを反映するとともに、環境に配慮した運用を実践することで従業員の環境意識の向上にもつなげています。

